

平成 25 年度 海外研修報告書

日本リハビリテーション医学会 国際委員会委員長 花山 耕三
海外研修担当委員 青木 隆明

平成 25 年度日本リハビリテーション医学会海外研修助成による研修が終了したので、下記の通り報告する。

栗原 由佳 (湘南東部総合病院リハビリテーション科)

参加会議名：7 th World Congress of the International Society of Physical and Rehabilitation Medicine (ISPRM 2013)

開催地：北京

参加期間：平成 25 年 6 月 16 日～ 20 日

発表演題名：Identifying the best ultrasonographic parameter for diagnosing ulnar neuropathy at the elbow.

発表の成果：ポスター発表での採用でしたが、今回から紙ポスターがなく、e-poster のみとなりました。大型のタッチパネルおよびスマートフォンのアプリでポスターを閲覧し、ディスカッションをする形式でした。残念ながらうまく機能しておらず直接自分の発表に対してディスカッションができずじまいでした。しかし、偶然にも、私に興味をもっている「リハ領域におけるエコー活用法」についてフロアで話題になっており、「エコーガイド下でのボツリヌス療法」、「筋の硬さの評価」など情報交換ができたことはとても有意義でした。

*海外研修印象記はリハニュース 61 号に掲載予定です。

平成 25 年度専門医会研究補助金助成対象者について

日本リハビリテーション医学会 専門医会 幹事長 近藤 和泉

平成 25 年度専門医会研究補助金助成対象者を、下記の通りお知らせします。

藪野 互平 (りんくう総合医療センター整形外科)

研究題名：人工股関節全置換術後リハビリテーションにおける歩行アシストロボットの有用性について